

福井大学同窓経営者の会の会員の皆様へ

謹啓 会員の皆様には、本学の応援団として、常日頃からご支援を賜り、心より感謝申し上げます。コロナ禍で、久しく皆様とお会い出来ず、書面で恐縮ですが、新しい令和3年を迎えて、福井大学の現状についてご報告し、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本学も、会員の皆様同様、去年は文字通りコロナ禍への対応に追われた1年でした。その中で、教育においては、当初の5月の連休までの休講、その後の全面オンラインによる授業再開、夏頃からは対面講義の段階的導入、拡大を行いましたが、このウィズコロナにより、オンデマンドを中心としたオンライン講義が初めて本格的に導入されたことは得難い経験となりました。

さて、一期6年の中期目標期間を単位とする国立大学法人は、第3期は残すところ1年となり、本年は、2022年度にスタートする第4期の中期目標・計画の作成の時期でもあります。世の中が人口集約型社会より知識集約型社会、情報化社会に移行する第4期は、地方の大学が発展する余地が生じ、地方において存在感を発揮でき、かつ世界レベルの研究も発展させ得る「世界に通じる地方総合大学」として発展する道を進みたく思います。

一方では、地域に積極的に出ていき、そこで各学部が連携する様々なステイクホルダーの皆様とのウィンウィンのエンゲージメントを構築し、地域共創の場を拡大していきたいと考えており、そのために、この福井大学に「学びの母港」を構築したいと考えます。この学びの母港は、本地域を中心とした福井大学と繋がりのある人々の、幼少期より高齢者に至るまでの生涯にわたる受け皿になることを想定しています。

また、福井大学基金は、皆様のご協力もあり、お陰様で順調に発展し、コロナ禍で経済的困窮を経験した学生諸君のサポートをはじめ、様々な事業に活用させていただいており、改めて御礼申し上げます。

本学は、福井大学同窓経営者の会の皆様のご支援のもと、広く地域と連携し、「世界に通じる地方総合大学」を目指し、一層の前進を重ねたいと思いますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

謹言

令和3年2月3日

国立大学法人福井大学長

上 田 孝 典